

# 男女共同参画の視点を持った避難所運営

## 千葉県流山市 流山防災まちづくりプロジェクト

### 1. 流山防災まちづくりプロジェクトのこれまでの活動について

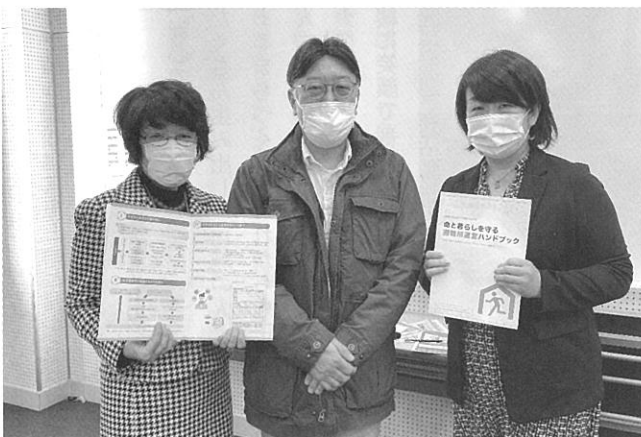
2019年にNPO法人パートナーシップなぐれやま主催の「女性防災リーダー養成講座」に参加したメンバーは、全6回の講座の中で①実際に避難所の運営をされていた方。②防災の活動を長年されている方。③これまでにいろいろな災害が起きた場所に出向いたことのある方々のお話を聞くことができました。災害に見舞われたことのない私たちは、リアルに災害を経験された方々のお話を聞くことで、「明日、大地震がくるかもしれない。実際に避難所を開設するとなった時に、どんなことが必要になるのか」を真剣に考えることができました。そして講座に参加したメンバー

16名で、「流山防災まちづくりプロジェクト」を設立し、防災宣言を発表しました。

(1) 2019年

◇流山市総合防災訓練にて自治会及び中学生との避難所開設訓練の実施

2019年9月には流山総合防災訓練にて自治会の役員の皆さまと、中学生と一緒に避難所開設訓練を実施しました。都心に働きに出ている方が多い流山市で、もし昼間、災害が発生したら、地元にいる方々と子どもたちが、そして高齢者の方で避難所を開設することになります。この訓練を通して中学生と一緒に活動する意義を学びました。



ハンドブック策定記念講演会にて



(2) 2020年

◇第二期女性防災リーダー誕生とハンドブック策定、そして2021年度の活動について

2020年9月には新たなメンバーを迎え、第二期女性防災リーダー養成講座をスタート、

2021年1月には「命と暮らしを守る避難所運営ハンドブック」策定記念講演会を実施致しました。2021年5月から自治会の皆さま向けの出前講座をスタート、2021年7月8月には中学生と一緒に学ぶ夏休み防災ワークショップを実施します。



2020年第二期女性防災リーダー養成講座の様子です。デフ（ろう者）の方がメンバーにいらっしゃるのので、手話通訳をお願いしています（写真ホワイトボード前のお二人が手話通訳の方です）

◇命と暮らしを守る避難所運営ハンドブックについて

災害を経験した事のない私たちが、講座を通して、よりリアルに防災について考え、どのような視点が必要なのか、どんなことに配慮が必要なのかについて考えながらハンドブックを策定しました。私自身、もしかしたら、家から遠く離れた、誰も知らない場所で避難することになるかもしれません。でも、このハンドブックがあれば、避難所を開設する際に声を上げて、こういう配慮が必要です！と声を上げることができると思います。一人



2019年流山市総合防災訓練にて 避難所開設訓練を行いました

でも多くの方にお持ちいただきたいとの思いで、ホームページからダウンロードできるようにしています。

◇自治会向けの出前講座について

2021年5月より、策定したハンドブックを手に、避難所開設時に運営側に戻る自治会の役員の皆さま向けに出前講座をスタートしました。まずは運営側に回る役員の皆さまに、一緒に考える機会を持っていただくことで、実際に避難所を開設する時に最初からジェンダーの視点を持った避難所運営ができる



2021年1月に行った、ハンドブック策定記念講演会の様子です

考えています。

## 2. 私たちが目標としていることについて

(1) 東日本大震災から10年経った今、これまで語られてこなかった多くの問題点が語られるようになってきました。そこで必ず目にするキーワードが、ジェンダーの視点です。東日本大震災の時に、みんなが過ごしやすそう

な避難所には、発言力のある女性がいたという報告があります。夜泣きする子どものためのキッズスペース、女性専用の更衣室や洗濯物干し場、プライバシーへの配慮など、子育てや介護などを主に担ってきた女性は、生活者としての視点をより強く持っていて、男性だけでは気づきにくい点に気配りできることがあるということでした。普段から地域にどんな方がお住まいで、どんな配慮が必要なのかを知り、安心のネットワークを構築することで、誰もが安全に暮らすことのできる避難所について、各自が考え行動できるようになると 생각합니다。

### (2) 誰も取り残さない避難所づくり

私たちは男女共同参画の視点、避難所運営の知識を活かし、男女ともに積極的に防災に参画することを推進します。女性の防災リーダーを育成することにより、災害に遭遇しても女性や子どもたちの安全、安心が守られ、減災につながる地域づくりに貢献します。つまり男女問わず、「じぶんごと」として考えられる人を増やし、特性を生かした避難所づくりを行う手助けをします。一人でも多くの方が知識を持ち、お互いに配慮しあうことができたなら、災害に見舞われた大変な状況の中でも、誰も取り残さない避難所をつくることができると思います。



流山おおたかの森地区の防災委員会と各地区の班長を対象にワークショップを実施。依頼のあった地区の状況や参加者、人数によって、研修をカスタマイズしています

### (3) 中学生と一緒に学ぶ防災

中学生と一緒に避難所開設訓練を行うことで、中学生が地域の一員として活躍できることを中学生本人だけでなく、先生方やまわりの大人も実感することで、結果子どもたちの自己肯定感が上がると思います。自分には何ができるはずだと思って育って欲しいと思います。

(流山防災まちづくりプロジェクト

代表 矢口輝美)



流山本町地区合同の避難所開設訓練を実施。小学生から大人まで 250 名の方にご参加いただきました